

## 交通安全だより第5号

### 「気を抜くな ふとした瞬間思わぬ事故に 運転中は全集中」 (2021年度 交通安全標語金賞)

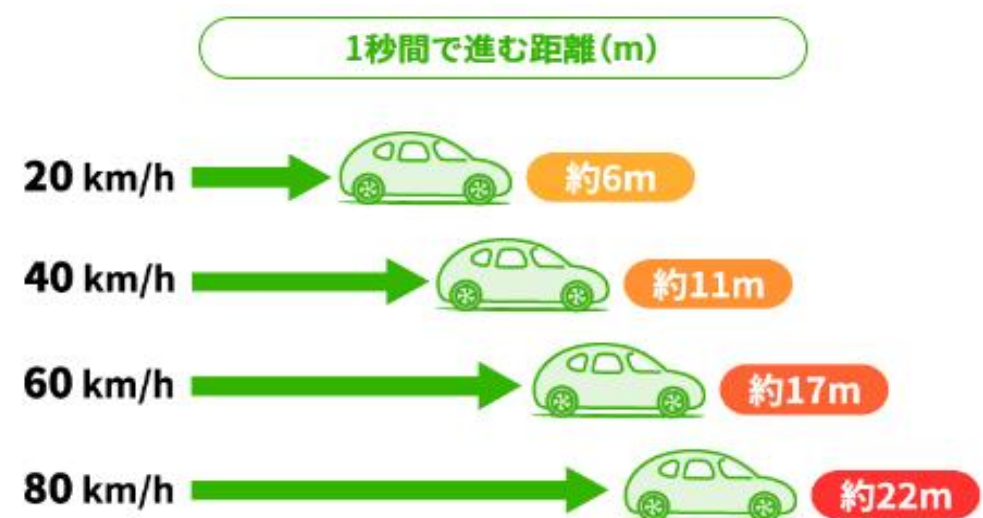
2021年度の社内交通安全標語金賞が上記標語に決まりました。そこで今月はわき見運転を取り上げてみました。わき見運転とは、走行中に前方から視線を外してしまうことや、周りの風景などに気を取られてしまい、目をそらして運転している状態をいいます。わき見運転（ながら運転）は当社の交通事故防止対策の課題でもあります。ご一読ください。

## I. わき見運転とは

### 1. 走行距離

自動車事故の多くはついやってしまいがちな行動が原因です。例えば、同乗のお子様やスマホに気をとられて一瞬前を見ていなかったわき見運転の際に事故の危険は迫っています。ドライバーが少しわき見をしてしまったほんの1秒の間に約11mも進んでしまいます（40km/hで走行中の場合）。

前方に歩行者がいたり、前の車が停止していたら大きな事故につながる可能性があります。



### 2. わき見運転の原因にはどんなものが挙げられる

わき見運転は、何かに気を取られ、前方から目をそらしているため、交通事故につながりやすい危険な運転で「前方不注意」にあたります。わき見運転を引き起こす原因は、たとえば以下のようなものが挙げられます。

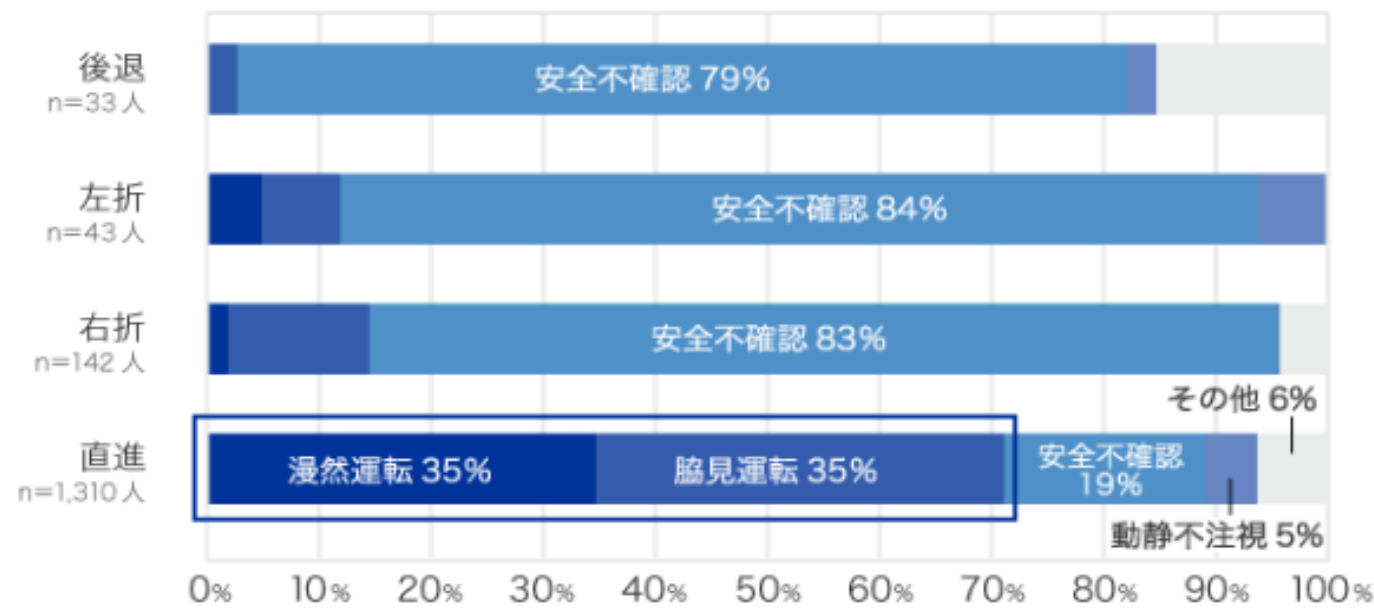
- 携帯電話の操作や会話
- カーナビやオーディオの操作
- 風景や看板に気を取られてしまった
- ダッシュボードや助手席の物を取ろうとした



### 3. 直進中は特に注意が必要

運転自体が単調になってくると、ドライバーも緊張感が薄れがちになります。その結果、前方から目を離しやすくなってしまい事故が起きる要因となります。単調な運転となる直進道路での事故原因としては、考えごとやぼんやりといった「漫然運転」が35%で「わき見運転」が35%と、このふたつだけで全体の70%を占めています。

自動車行動類型別／運転者人的事故要因別の歩行者死者数の割合



4. わき見運転はとても危険

他社事例として、タンクローリーが車線上で行われていた下水道工事の現場に突っ込み、作業員や工事車両などに衝突する事故が発生しました。この事故で男性警備員と男性作業員の計2人が死亡し、車両付近にいた作業員ら男女5人も負傷して病院に搬送されています。タンクローリーを運転していた43歳の男性は「カーオーディオを操作していて前をよく見ていなかった」と供述しています。操作をしていて道路上にいた警備員らの発見が遅れ、そのままはねたとみられています。

◆今一度、わき見運転（**ながら運転**）の恐ろしさを肝に銘じて、運転中に車内の装置をいじったりスマートフォン画面を操作するのは、止めましょう。

II. 今月の交通ヒヤリハット

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	朝、8時ごろ
どこで	自宅からすぐ出たT字路で
何をしている時に	入社するために車を運転していた際に
どうなった	見通しが悪くカーブミラー等もないため、小学生が走ってきたのでヒヤッとした

III. 今月のスローガン（企業開発センター交通問題研究室）

「交差点 自転車の 急な飛び出し 要注意」